



## 受入環境検討作業部会

2024年2月

宮古島市観光推進協議会 事務局

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 1. 住民アンケート・観光アンケート結果

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

81

## 住民アンケート調査結果

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 住民アンケート調査概要

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【2018年度調査概要】</b><br>調査実施日：2018年8月<br>(観光振興基本計画策定目録に合わせ実施)<br>調査対象：行政連絡員が担当地区から無作為に10世帯を抽出<br>調査票配布方法：行政連絡員が配布<br>(無作為に住所を選択して投函する)<br>回収方法：郵送にて回収(無記名)<br>調査対象世帯数：1,000世帯<br>回収サンプル数：302サンプル(回収率27.9%)                                                                                                          | <b>【2023年度調査概要】</b><br>調査実施時期：2023年11月15日～12月15日<br>調査対象：行政連絡員が担当地区から無作為に10世帯を抽出<br>調査票配布方法：行政連絡員が配布(無作為に住所を選択して投函する)<br>回収方法：<br>① 送達用封筒による郵送回収<br>② 調査票に搭載したQRコードで回答サイトにアクセスしwebで回答<br>※①②で回答が重複しないように、調査票にシリアル番号を付し、webによる回答の場合その番号を記載する<br>調査対象世帯数：1,110世帯<br>回収サンプル数：278サンプル(回収率25.0%)<br>(内無効回答1)<br>有効回答数：277サンプル |
| <b>【2021年度調査概要】</b><br>調査実施時期：2021年9月15日～10月15日<br>調査対象：行政連絡員が担当地区から無作為に10世帯を抽出<br>調査票配布方法：行政連絡員が配布(無作為に住所を選択して投函する)<br>回収方法：<br>① 郵送による回収<br>② 調査票に搭載したQRコードで回答サイトにアクセスしwebで回答<br>※①②で回答が重複しないように、調査票にシリアル番号を付し、webによる回答の場合その番号を記載する<br>調査対象世帯数：1,100世帯<br>回収サンプル数：259サンプル(回収率22.5%)<br>(内無効回答3)<br>有効回答数：248サンプル |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

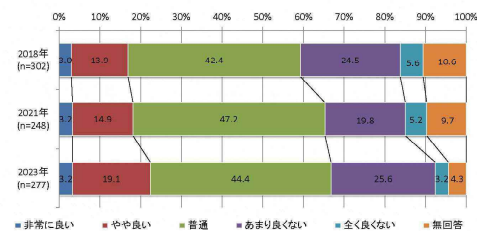
©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

82

## 観光関連産業に対する印象

観光関連産業に対する印象は「非常に良い」が増え、「やや良い」が増加し、好印象の回答合計は18.1%から22.3%に増加した。ただ、同時にあまり良くないの数値も増加したが、全く良くないは減少した。

Q.宮古島市の観光関連産業に対する印象について次のどれに当てはまりますか。



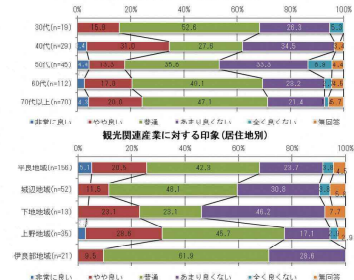
©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

5

## 観光関連産業に対する印象

年代別で見ると、好印象が最も高いのは40代だが、あまり良くないも多い。住居地域別では、平良・上野が好印象の数値が高く、下地も次いで高いが、あまり良くないの数値も最も高い。

観光関連産業に対する印象(年代別)



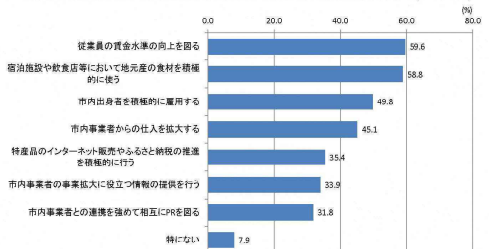
©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

83

## 市民が豊かになるために観光関連事業者に望むこと(2023年)

市民が経済的に豊かになるために、観光関連事業者に望むことでは「従業員の賃金水準の向上を図る」「宿泊施設や飲食店等において地元産の食材を積極的に使う」「市内出身者を積極的に雇用する」「市内事業者からの仕入を拡大する」「特産品のインターネット販売やふるさと納税の推進を積極的に行う」「市内事業者の事業拡大に役立つ情報の提供を行う」「市内事業者との連携を強めて相互にPRを図る」特になし

Q.市民が経済的に豊かになるために、観光関連事業者に望むことは何ですか。(いくつでも)



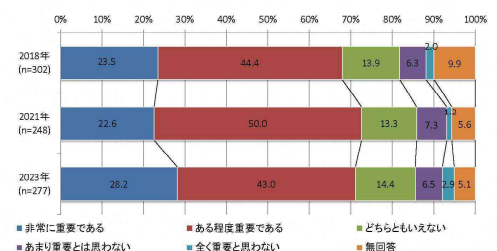
©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

7

## 観光振興の重要度

観光振興に対する重要度については、「非常に重要である」が増加、「ある程度重要である」が減少して、重要視する回答の合計は72.6%から71.2%に減少した。

Q.宮古島市にとって、観光振興はどの程度重要だと思いますか。



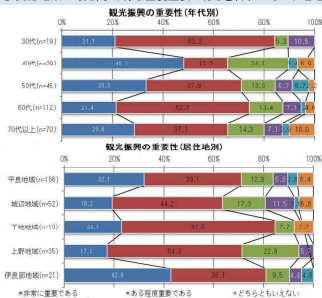
©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

8

84

## 観光振興の重要性

観光振興の重要性の認識は、40代が最も高く、年代が上がるにしたがって低下する傾向がみえる。居住地域では、伊良部地域が最も高く、ある程度重要であるを合わせると下地地区が最も高い。

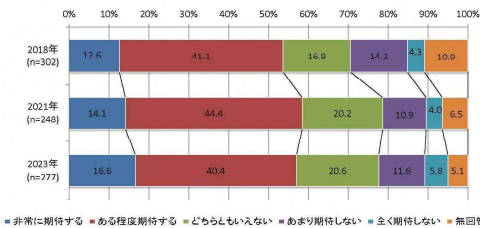


◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

## 観光振興政策への期待度

観光振興政策に対する期待度は、「非常に期待する」が増加、「ある程度期待する」が減少して、期待する回答の合計は58.5%から57.0%に減少した。

Q. 宮古島市の観光振興政策に、どの程度期待しますか。

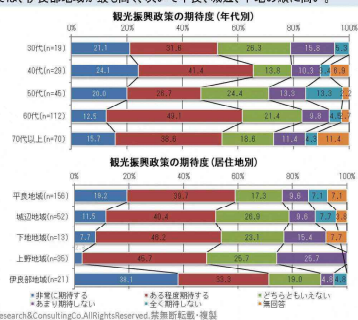


◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

85

## 観光振興政策への期待度

観光振興政策期待度は、40代が最も高い。居住地域では、伊良部地域が最も高く、次に平良、城辺、下地の順に高い。

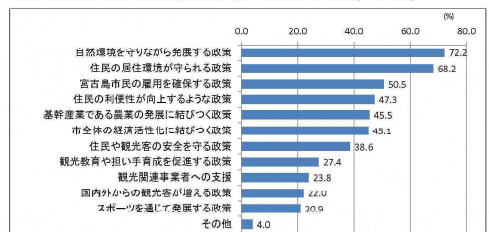


◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

## 今後必要な観光政策 (2023年)

宮古島市に今後必要な観光政策では「自然環境を守りながら発展する政策」「住民の居住環境が守られる政策」の二つが大きく、ついで「宮古島市民の雇用を確保する政策」「住民の利便性が向上する政策」「基幹産業である農業の発展に結びつく政策」が続いている。自然環境や住環境の維持が、雇用や利便性、経済発展よりも優先されている。

Q. 宮古島市は、今後どのような観光政策を行うべきだと思いますか。(いくつでも)



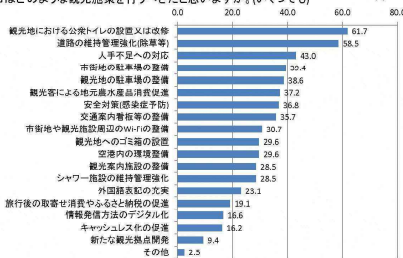
◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

86

## 今後行すべき観光施策 (2023年)

宮古島市が行べき観光施策の回答では、「観光地における公衆トイレの設置又は改修」「道路の維持管理強化(除草等)」が上位にあり、ついで「人手不足への対応」「市街地の駐車場の整備」「観光地の駐車場の整備」などが続いている。

Q. 宮古島市はどのような観光施策を行うべきだと思いますか。(いくつでも)

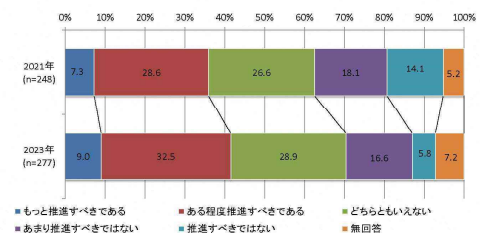


◎2023ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

## クルーズ船誘致の推進

クルーズ船誘致については、「もっと推進すべきである」「ある程度推進すべきである」が共に増加し、推進すべきと回答した合計は35.9%から41.5%に増加している。

Q. クルーズ船誘致について、宮古島市は今後も推進すべきだと思いますか。

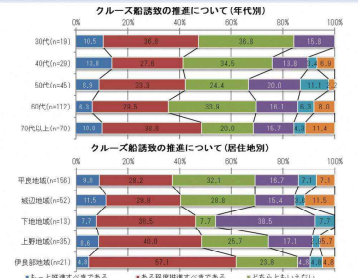


◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

87

## クルーズ船誘致の推進

クルーズ船誘致について「もっと推進すべき」という意見は、40代が最も高い。居住地域みると、「もっと推進すべき」と意見は伊良部地域が最も低い、「ある程度推進すべき」を含めると伊良部地域が最も高くなる。

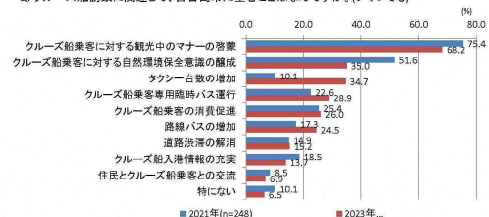


◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

## クルーズ船誘致に関して望むこと

クルーズ船誘致に関して宮古島市に望むことは、「クルーズ船乗客に対する観光中のマナーの啓蒙」「クルーズ船乗客に対する環境保全意識の醸成」「タクシー台数の増加」「クルーズ船乗客専用臨時バス運行」「クルーズ船乗客の消費促進」などの順に多く回答された。前回調査に比べて増加した回答は、「タクシー台数の増加」「クルーズ船乗客専用臨時バス運行」「路線バスの増強」など交通に関するものが多い。

Q. クルーズ船誘致に関して、宮古島市に望むことはなんですか。(いくつでも)



◎2024ITBTourismResearch&ConsultingCo.AllRightsReserved. 禁無断転載・複製

88

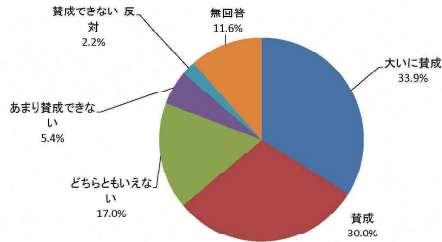


## 宿泊税導入について（2023年）



宿泊税の導入に関する回答では、「大いに賛成」が32.0%、「賛成」が30.0%で、合計62.0%が賛同の意向を示した。「あまり賛成できない」「賛成できない・反対」の回答は合計7.6%であった。

Q. 宮古島市における宿泊税導入についてあなたのお考えをお聞かせください。



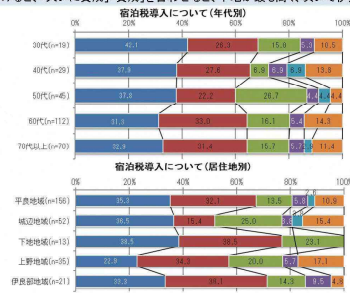
©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

17

## 宿泊税導入について（2023年）



宿泊税の導入に関する回答では、年代が若いほど賛成の意向が強い。居住地域でみると、「大いに賛成」「賛成」を合わせると、下地が最も高く、次いで伊良部となる。



©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

18

## 調査結果のまとめ



### 宮古島市での生活、仕事について

- ・全体的には、住みやすさの評価は高く、宮古島に定住する意向は強い。
- ・仕事の充実感に変化は見られないものの、収入面については満足度の回答と不満の回答が両方共に増加しており、単純化の進展がみられる。

### 観光客および観光業界について

- ・観光客に日常的な接点で接する機会はやや減少しているが、観光客に対しては良い印象が増加している。
- ・日本人観光客を歓迎する気持ちに比べ、外国人観光客を歓迎する気持ちはやや少ない。

### 観光政策・観光施策について

- ・今後必要な観光政策では「自然環境を守りながら発展する政策」「住民の居住環境が守られる政策」の二つが大きく、ついで「宮古島市民の雇用を確保する政策」「住民の利便性が向上する政策」「基幹産業である農業の発展に結びつく政策」が強い。
- ・自然環境や住環境の維持が、雇用や利便性、経済発展よりも重要視されている。
- ・宮古島市が行うべき観光施策では、「観光地におけるトイレの設置又は改善」「道路の維持管理強化（除雪等）」が上位にあり、次いで「人手不足への対応」「市街地の駐車場の整備」「観光地の駐車場の整備」などが続く。

### クルーズ船誘致について

- ・クルーズ船誘致の推進意向は増加。一方、望むこととしては「クルーズ船乗客に対する観光中のマナーの啓蒙」「クルーズ船乗客に対する環境保全意識の醸成」「タクシー台数の増加」「クルーズ船乗客専用臨時バス運行」「クルーズ船乗客の消費促進」などの順に多く回答された。前回調査に比べ特に増加した回答は、「タクシー台数の増加」「クルーズ船乗客専用臨時バス運行」「タクシー台数の増加」など交通に関するものが多く。

### 宿泊税について

- ・宿泊税の導入に関しては、「大いに賛成」が33.9%、「賛成」が30.0%で、合計63.9%が賛同の意向を示した。

©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

19

## 観光客アンケート調査結果

## 観光客アンケート調査概要



調査名：宮古島市観光客アンケート調査

調査主体：宮古島市

調査実施：宮古島観光協会

調査対象：空路観光客

調査地点：①宮古空港 ②下地島空港

【宮古空港】

○調査実施日：2023年12月18日～20日

○調査対象：空路観光客

○調査方法：面接法

○回収サンプル数：2689名

【下地島空港】

○調査実施日：2023年12月11日・15日

○調査対象：空路観光客

○調査方法：面接法

○回収サンプル数：789名

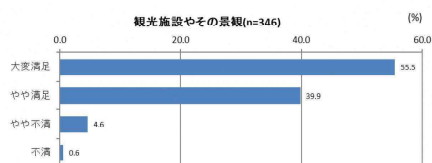
©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

21

## 観光施設や景観についての満足度



今回の旅行で訪れた観光地・観光施設及びその景観についての満足度は、「大変満足」が55.5%、「やや満足」が39.9%で、ほぼ全員が満足と回答している。



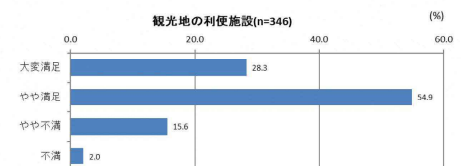
©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

22

## 観光地の利便施設についての満足度



今回の旅行で訪れた観光地の利便施設（トイレ、シャワー、駐車場、アクセス道路）についての満足度は、「大変満足」が25.6%、「やや満足」が57.7%で、83.3%が満足と回答している。



©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

23

## さらに安心・安全・快適に観光する為、必要な施設・観光の整備



宮古島を訪れる方が、さらに安心・安全・快適に観光する為、必要な施設・観光の整備についての回答では、「トイレ・シャワーの整備」が最も多く、次いで「市街地や観光施設周辺のWi-Fiの整備」「駐車場の整備」「交通案内看板等の整備」などの順に多く挙げられた。

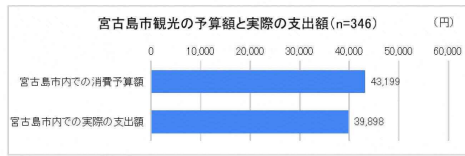


©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

24

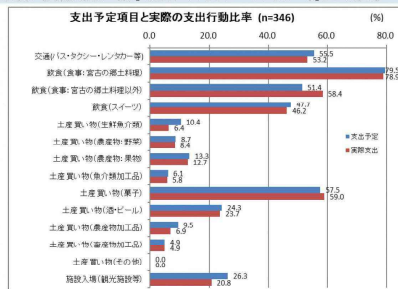


宮古島市観光予算額は、平均43,100円で、実際の消費額は20,898円で、23,201円少ない。これは、観光客側からみると、もとより予定していた交通、飲食、土産などの予算に対して実際に支出をしなかったということになる。宮古島市にとってその金額は販売機会ロスであり、令和4年度の空港入城観光客数(736,639人)に乗じて算出すると、販売機会損失額は約24.3億円にのぼる。



## 販売機会ロスを生じている支出項目

当初の予定に比べ実際の支出が少いのは、「施設入場(観光施設等)」「土産買い物(生鮮魚介類)」「土産買い物(農産物加工品)」「交通(バス・タクシー・レンタカー等)」などである。



|                    | 支出予定  | 実際支出  | 差異   |
|--------------------|-------|-------|------|
| 交通(バス・タクシー・レンタカー等) | 55.5  | 53.2  | -2.3 |
| 飲食(食事:宮古の郷土料理)     | 79.5  | 78.9  | -0.6 |
| 飲食(食事:宮古の郷土料理以外)   | 51.4  | 58.4  | 6.9  |
| 飲食(スイーツ)           | 47.7  | 46.2  | -1.4 |
| 土産 買い物(生鮮魚介類)      | 10.4  | 6.4   | -4.0 |
| 土産 買い物(農産物:野菜)     | 8.7   | 8.4   | -0.3 |
| 土産 買い物(農産物:果物)     | 13.3  | 12.7  | -0.6 |
| 土産 買い物(魚介類加工品)     | 6.1   | 5.8   | -0.3 |
| 土産 買い物(菓子)         | 57.5  | 59.0  | 1.4  |
| 土産 買い物(酒・ビール)      | 24.3  | 23.7  | -0.6 |
| 土産 買い物(農産物加工品)     | 9.5   | 6.9   | -2.6 |
| 土産 買い物(畜産物加工品)     | 4.9   | 4.9   | 0.0  |
| 土産 買い物(その他)        | 0.0   | 0.0   | 0.0  |
| 施設入場(観光施設等)        | 26.3  | 20.8  | -5.5 |
| 体験メニュー             | 19.9  | 18.2  | -1.7 |
| その他                | 5.2   | 6.9   | 1.7  |
| 全体                 | 100.0 | 100.0 | 0.0  |

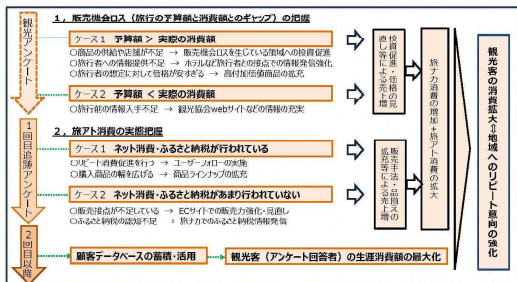
## 観光客アンケートの追跡調査実施について(案)

観光客アンケートの回答者に対して、1年後追跡アンケート調査を実施する。これにより、旅行後の観光消費動向を把握することが可能となる。

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>目的</b>   | 観光客アンケート回答者のうち、1年後のアンケート送付を承諾した者                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <b>調査対象</b> | 観光客アンケート回答者のうち、1年後のアンケート送付を承諾した者                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <b>調査方法</b> | 調査依頼メールを送信(BCCで一斉送信)し、webサイトで回答を取集                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>調査時期</b> | 調査開始は2年後の3月上旬に実施(毎年継続実施)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>主な内容</b> | 観光客アンケート回答後の実施把握<br>・宮古島市南送付結果<br>・ネットでの特産品購入経験の有無及び消費額(自宅用・贈答用)<br>・アンケートでの購入経験の有無及び消費額<br>・百貨店等やイベント会場での購入経験の有無及び消費額<br>・ふるさと納税経験の有無<br>・知人等への宮古島旅行消費経験<br>・知人等への宮古島の特産品購入経験<br>・特産品購入する一歩の把握<br>・一度食べてみたい宮古島の食<br>・ネットでの販売を希望する宮古島の特産品<br>・一度行ってみたい宮古島の観光地や観光施設<br>・宮古島の特産品やイベントなどの情報提供希望の有無<br>・1年後のアンケート回答率の把握 |

## 観光客アンケートと追跡アンケートによる観光客の消費額最大化

観光客アンケート調査結果が地元での消費額増大に向けた投資促進や価格の引き上げを行う。また、1年後の追跡アンケート調査により旅行消費の実態を把握し、販売手法や商品の拡充及び見直しを行う。これを継続することで、旅行者の生涯消費額を最大化する。

2. 受入キャパシティについて  
(下水道・ごみ処理)

## 宮古島観光振興における下水道の課題と方向性

## 宮古島市における下水道の現状

ヒアリング先: 下水道課

- 現在の下水道事業計画では、宮古島市観光振興基本計画にある令和9年度の入城観光客数200万人(空港110万人)に対応できる容量は、確保されている。
- (令和8年度計画 1日平均給水量26,800m<sup>3</sup>(令和元年度実績 24,700m<sup>3</sup>))
- 観光客の増加に伴い、増加する需要水量に対応するため、野添第2配水池(V=2,540m<sup>3</sup>)、友利配水池(V=470m<sup>3</sup>)の建設により安定供給を行う。(令和6年度完成予定)
- 伊良部島内におけるホテル等建設計画の増加や排水等を含む災害時においては、島内での水源は必要であるとして、伊良部浄水場の再稼働に向け取組を行っている。

## 宮古島市における下水道の課題

- リポート計画等が増加しているため、新たな下水道開発のための設計面の見直しが必要である。
- 水源開発は、候補地選定から特定及び開発には期間と多額の費用が必要である。
- 水道料金は、値上げの検討が必要となる可能性がある。

## 宮古島市における下水道問題解決の方向性

- 大型ホテルに対しては、海水を淡水化する機械の導入を促進。ただし、水道水確保地域については、地下水の取水利用は不可。
- 簡易トイレ制度に、いっしょの必要性を検討。
- 給水区域の限定により配水管等の負荷の軽減、地域の給水状況(水圧・水量等)の確保
- 新たな水源等施設の建設に必要な予算確保。

## 宮古島観光振興における汚水処理施設の課題と方向性

## 宮古島市における汚水処理の現状

ヒアリング先: 下水道課・衛生施設課

- 宮古島には、汚水処理施設として公共下水道、農業集排水、漁業集排水、浄化槽の4つがある。集排水浄水化槽において発生する臭・浄化槽汚泥は、最終的に公共下水道の処理施設で処理を行っている。
- 公共下水道は旧平良(旧)の区域であるが、事業計画区域は縮小する方向に動いている。
- 下水道処理施設の汚水処理施設(浄化・浄化槽汚泥の下水処理施設)にはバキューム車で1日あたり最大55klの浄化・浄化槽汚泥が搬入され、希釈等の処理を行って下水処理施設に搬入されている。
- 本邦では下水道に「下水」を対応可能な下水処理施設は、下水道汚泥処理施設(浄化槽)と浄化槽汚泥処理施設(浄化槽)の2つがある。下水処理施設は、下水処理施設(浄化槽)と浄化槽汚泥処理施設(浄化槽)の2つがある。
- 下水処理の過程で発生する汚泥は、汚泥処理として100%農地に還元されている。
- 下水処理施設においては、令和4年度は1日あたりの処理能力最大5600m<sup>3</sup>に対し、汚水処理量は3800m<sup>3</sup>の実績となっている。

## 宮古島市における汚水処理の課題

- ホテル等の宿泊施設が増えることと観光客からの利用客による汚水排出量の増加が予想され、処理施設のキャパ(超過に伴う排水の制限等、観光客のみならず住民生活への多大な影響も懸念される)。

## 宮古島市における汚水処理問題解決の方向性

- 下水道事業計画では、現在建設中の3期目OD槽が供用開始される1日あたり最大8400m<sup>3</sup>が処理可能となり、令和8年度には1日あたりの汚水処理能力が562倍となることを想定し、建設を計画している4期目のOD槽が完成すると、処理能力は1日あたり最大11,200m<sup>3</sup>となる予定である。現状計画を推進することにより、処理問題は解消すると考えられる。また、下水道事業計画区域外に建設が想定される大型ホテル等についても、新たに建設される汚水処理施設(処理能力:1日あたり最大70kl)の運用により1日に対応可能な下水処理施設(浄化槽)と浄化槽汚泥処理施設(浄化槽)の2つがある。
- OD槽: オキシジェンデフラグレーション(OD法)により、流入汚水を活性汚泥を、縦型回転式反応槽により混合槽で、汚水の中の有機物を分解、酸化、分解する装置。

## 宮古島市におけるごみ処理の現状

ヒアリング先：衛生施設課

- 宮古島市は他の自治体に比べて処理費用が安い。
- ペトボトルは日本容器包装リサイクル協会に送っている。
- 産業廃棄物処理事業者は島内で破砕するか燃やすかいずれの方法で処理している。
- 一部事業者のタイヤの山積みや貯め置きがみられる。
- 事業者から出る廃缶スチロールや廃ビニールは産業廃棄物に当たるので、市のグリーンセンターでは処理を行っている。
- 家庭から出る食用油は市の施設で処分できないため、本島に輸送している。

## 宮古島市におけるごみ処理の課題

- 観光客の増加に伴い、事業系のごみの増加。令和9年には家庭ごみを持って逆転する見込み。
- 家庭ごみと事業ごみが同じ場所に出されているので、分別して出すよう周知していく。

## 宮古島市におけるごみ問題解決の方向性

- 事業系のごみの処理や分別について徹底するよう企業に協力を求める。
- ごみを減らすよう観光客への啓発活動を進める。
- 事業系のごみについては、観光協会、商工会議所、商工会を通じて分別の周知を図る。
- 関係機関で情報共有をしながら啓発活動を持続する。

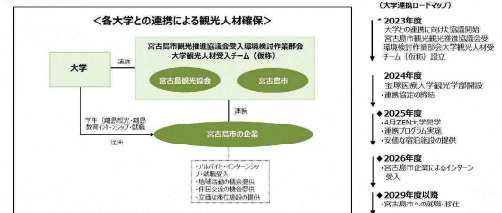
©2023 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

1

宮古島市の課題のひとつである人材不足問題は、特に観光関連産業において著しい。リゾートバイトなど短期的なアルバイト募集は、学生の夏休み期間中など一時的な人手不足の解決にはなるものの、企業が求める人材の供給としては不安定さを免れず、またアルバイト募集コストが高み企業経営を圧迫しかねない。安定的に人材を確保するには、就職を前提としたインターンシップの受入を強化すべきであるが、大学とのパイプが形成されていない現状では、時間を要することが予想される。

これまで、宮古島市観光推進協議会受入環境検討作業部会で人材不足問題の議論を行ってきたが、大学との連携によるインターンシップ受入が、宮古島市が抱える観光人材不足の解決策として有効と考えられる。

2024年4月には宮古島市に琉球医療大学観光学部が開設されることから、2024年度以降、全国各大学との連携を強化していきたい。



©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

35

3. 人手不足への取組みについて  
(大学連携)

## 4. クルーズ船対応について

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

34

97

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

36

98

## 1. クルーズ船対応について

## クルーズ船対応について

- クルーズ船寄港時は、来訪者の4,000人規模が来た場合、半分がタクシーやレンタカー、半分は徒歩で回っているが、市街地で開いている店が少ないため、行けるところがない。
- のままだと大きなクルーズ船には敬遠される。
- ドンキホーテ、イオン、公設市場を回すのはどうか。事前に分かれれば品揃えもできる。事前の情報が必要だ。

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

37

## 1. クルーズ船対応について

- ツアーバスやシャトルバス、タクシーで市内各地へ観光客を案内（船社等）
- 上記以外の交通手段としてレンタサイクル等の実施（市）
- その他、施設内で楽しめるよう、キッチンカー配置も実証（市）

©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

38

99

## 2. 今後の取組み

## 公設市場への誘導及びごみ問題への対応策検討

- 昼食を提供している店舗一覧の多言語版チラシを作成し、観光案内所に設置
- クルーズ船寄港時に大量に発生するごみ問題への対策検討



## 市内飲食店への誘導

- 昼食を提供している店舗のチラシを観光案内所に設置

## 受入態勢の強化

- キッチンカーや二次交通対策の取り組み検討（ひうりん公園の活用など）

## 事前情報収集の継続

- 観光ツアーやシャトルバスの台数把握について、継続して検討



©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

40

## 作業部会での主な意見

## 第1回受入環境検討作業部会 ＜開催日時：令和5年10月2日(月) 15:30～17:00＞

- ① 人材不足の対応について  
観光客に対する対応について、地域差や年齢差があるのかどうかは不明だ。一時的な人手不足をカバーしてはどうか。受入の体制づくりについては企業も出資するなど、協同組合のような仕組みを作れば面白い。
- ② 受入キャパシティについて  
ごみ、二次交通の問題がある。数人で乗るより事業系のごみが増える可能性がある。
- ③ クルーズ船対応について  
クルーズの受け入れについても課題がある。4,000人規模が来た場合、半分がタクシーやレンタカー、半分は徒歩で回っているが、市内で回っている店が少ないため、行くところがない。このままだと大きなクルーズ船には敬遠される。

## 第2回受入環境検討作業部会 ＜開催日時：令和6年2月16日(金) 10:00～11:00＞

- ① 市民アンケートについて  
観光客に対する対応について、地域差や年齢差があるのかどうかは不明だ。一時的な人手不足をカバーしてはどうか。受入の体制づくりについては企業も出資するなど、協同組合のような仕組みを作れば面白い。
- ② 人材不足の対応について  
観光客に対する対応について、地域差や年齢差があるのかどうかは不明だ。一時的な人手不足をカバーしてはどうか。受入の体制づくりについては企業も出資するなど、協同組合のような仕組みを作れば面白い。
- ③ クルーズ船対応について  
クルーズの受け入れについても課題がある。4,000人規模が来た場合、半分がタクシーやレンタカー、半分は徒歩で回っているが、市内で回っている店が少ないため、行くところがない。このままだと大きなクルーズ船には敬遠される。

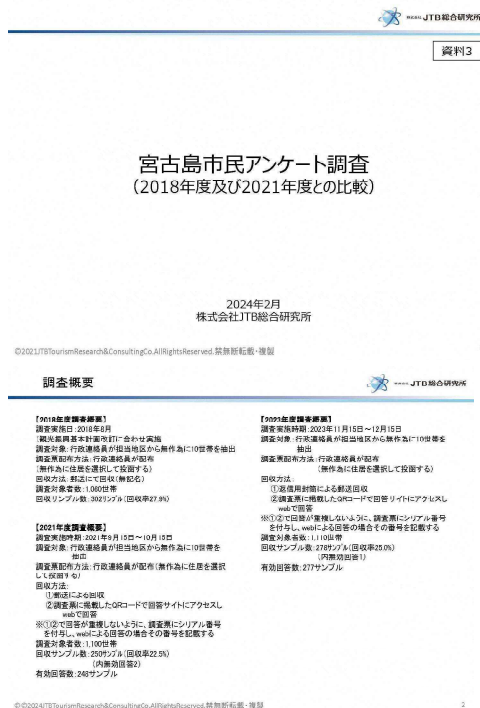
©2024 JTB Tourism Research &amp; Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

41

100

## 2-3. 住民満足度調査の実施

### (1) 第2回 受入環境検討作業部会資料

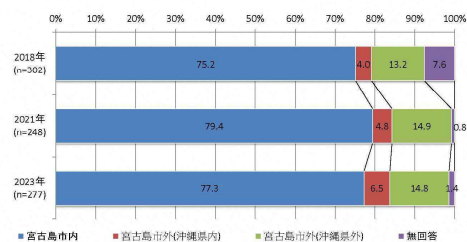


101

### 出身地と宮古島市での居住年数

回答者の出身地は、宮古島市内が減少、若干宮古島市外(沖縄県内)の割合が増加している。

Q.出身地と宮古島市での居住年数をお聞かせください。

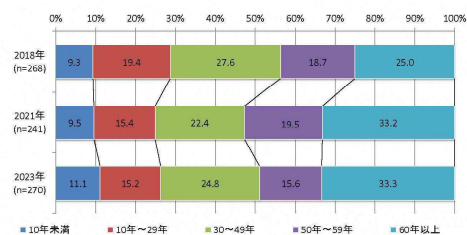


©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

### 出身地と宮古島市での居住年数

回答者の宮古島居住年数は、「60～69年」の回答が減少し、「10年未満」と「30～49年」の回答が増加している。

Q.出身地と宮古島市での居住年数をお聞かせください。



©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

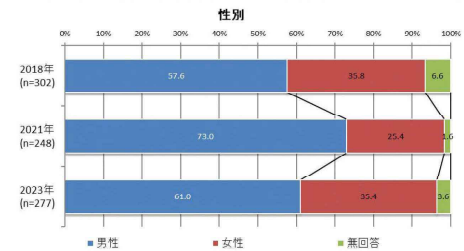
103

## 性別

株式会社JTB総合研究所

回答者の性別は、前回調査に比べ女性の割合が増加し、男性の割合が減少した。

Q.性別



©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 年齢

株式会社JTB総合研究所

回答者の年齢は、前回調査に比べ60代と70代以上の割合が増加し、30と50代の割合が減少した。10代の回答者はゼロであった。

Q.年齢



©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

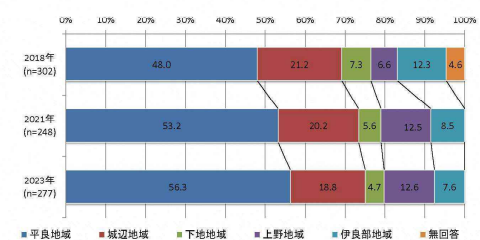
102

### 居住地域

株式会社JTB総合研究所

回答者の居住地域では、平良地域が増えて、城辺、下地、伊良部地域は減少している。

Q.居住地域は次のどこですか。



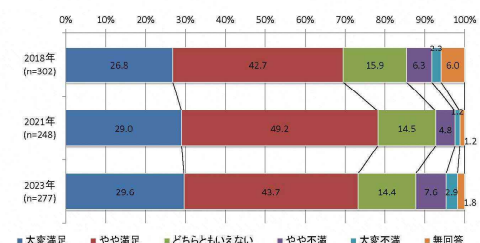
©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

### 住みやすさの満足度

株式会社JTB総合研究所

宮古島の住みやすさについての満足度は、「大変満足」は横ばい、「やや満足」は減少し、満足回答の合計は78.2%から73.3%に減少した。

Q.居住地域の住みやすさの満足度は次のどれに当てはまりますか。



©2024 JTB Tourism Research & Consulting Co., All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

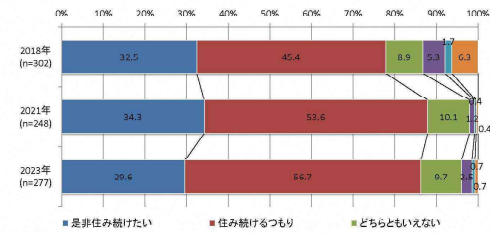
104



## 今後の居住継続意向

宮古島市への居住意向は、「是非住み続けたい」が減少、「住み続けるつもり」が増加、今後の居住意向の合計は87.9%から86.3%に若干減少した。

Q.居住地域に今後も住み続けたいですか。

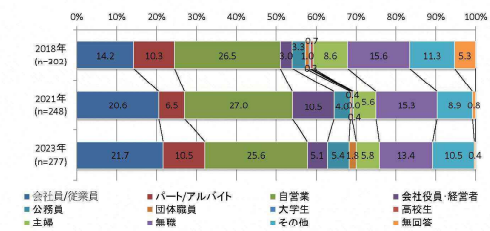


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 職業

回答者の職業は、会社員・従業員、パート・アルバイト、主婦の割合が増加、自営業、会社役員・経営者、無職の割合は減少している。

Q.職業は次のどれに当てはまりますか。

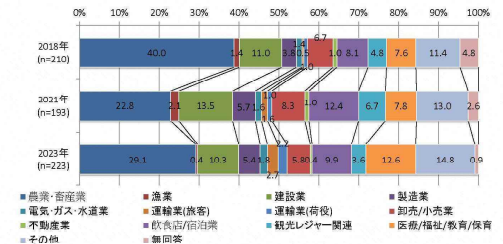


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 業種

就業先の業種は、農林・畜産業、医療・福祉・教育・保育が増加、漁業、建設業、卸売・小売業、飲食業・宿泊業、観光レジャー関連などが減少した。

Q.現在のお仕事の業種は次のどれに当てはまりますか。

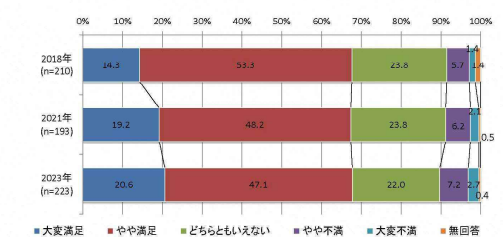


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 満足度（仕事の充実感）

仕事の充実感の満足度は、「大変満足」が増え「やや満足」が減り、満足回答の合計は67.4%から67.7%とほぼ同じ割合である。

Q.現在のお仕事の楽しさ(充実感)の満足度は次のどれに当てはまりますか。

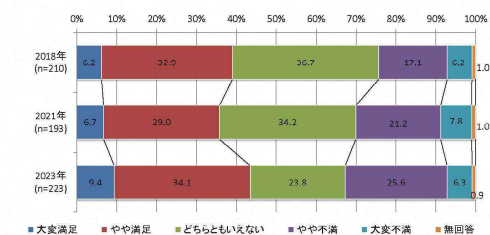


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 満足度（仕事の収入）

仕事の収入の満足度は、「大変満足」「やや満足」とともに増加し、満足回答の合計は35.7%から43.5%へと大幅に増加した。

Q.現在のお仕事の収入(給料・事業収益等)の満足度は次のどれに当てはまりますか。

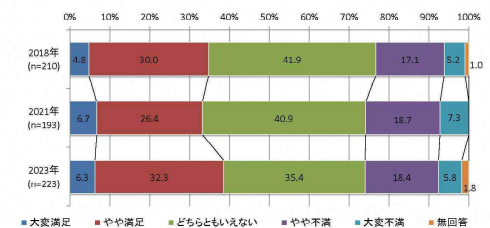


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 満足度（仕事の将来性）

仕事の将来性についての満足度は、「大変満足」が若干減少し「やや満足」が増えて、満足回答の合計は33.1%から38.6%に増加した。

Q.現在のお仕事の将来性についての満足度(安心感)はいかがですか。

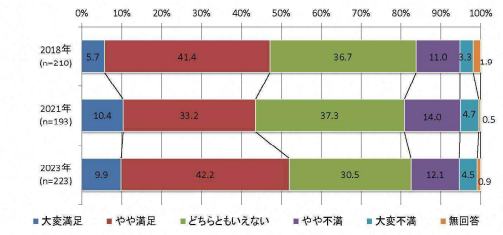


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 満足度（仕事の総合的満足度）

仕事の総合的満足度は、「大変満足」が減り「やや満足」が増え、満足回答の合計は43.6%から52.1%に大きく増加した。

Q.現在のお仕事の総合的満足度についてはいかがですか。

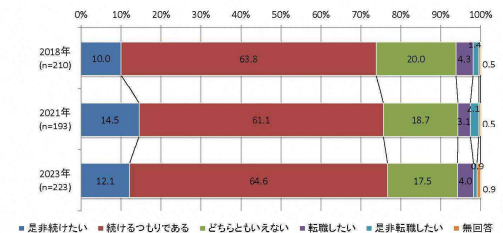


©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 仕事の継続意向

仕事の継続意向は、「是非続けたい」が減り「続けるつもりである」が増えて、継続意向の合計は75.6%から76.7%に若干増加した。

Q.現在のお仕事を続けることについてはいかがですか。



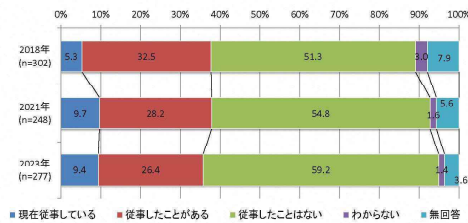
©2024ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 観光関連・ボランティアへの従事経験

©2024 JTBC総合研究所

観光関連の仕事やボランティア活動に従事した経験では、「現在従事している」が0.7%から0.4%に減少、「従事したことがある」が28.2%から26.4%に減少した。一方、「従事したことはない」は54.8%から59.2%に増加している。

Q.これまでに観光関連のお仕事やボランティア活動に従事したことはありますか。



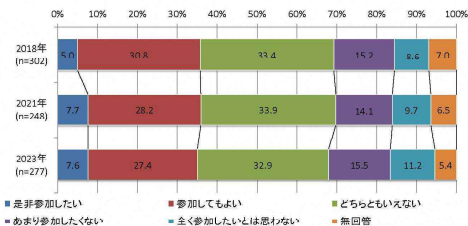
©2024 JTBC総合研究所

## 観光関連・ボランティアの参加意向

©2024 JTBC総合研究所

今後の観光関連の仕事やボランティア活動への参加意向では、「是非参加したい」はほぼ横ばい、「参加してもいい」がやや減少して、参加意向の合計は35.9%から35.0%へと若干減少した。

Q.観光関連のお仕事やボランティア活動に参加される気持ちはありますか。



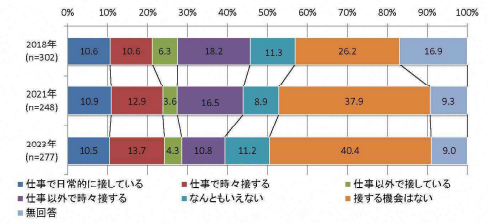
©2024 JTBC総合研究所

## 観光客に接する機会

©2024 JTBC総合研究所

観光客に接する機会について、「仕事で日常的に接している」「仕事で時々接する」「仕事以外で接している」「仕事以外で時々接する」が減少、「接する機会はない」が増加している。

Q.観光客に接する機会について次のどれに当てはまりますか。



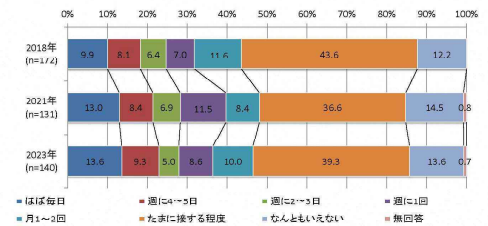
©2024 JTBC総合研究所

## 観光客に接する頻度

©2024 JTBC総合研究所

観光客に接する機会の回答では、「ほぼ毎日」「週に4～5日」など頻度の多い回答が増加し、「週に2～3日」「週に1回」は減少している。「月1～2回」「たまに接する程度」は増加した。

Q.観光客と接する機会の頻度について次のどれに当てはまりますか。



©2024 JTBC総合研究所

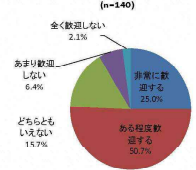
## 観光客に対する歓迎度合（2023年）

©2024 JTBC総合研究所

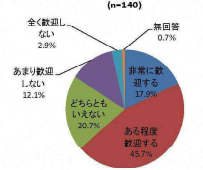
日本人観光客を歓迎する度合いについては、「非常に歓迎する」(25.0%)と「ある程度歓迎する」(50.7%)で合計75.7%が歓迎する気持ちを持っている。外国人観光客を歓迎する度合いについては、「非常に歓迎する」(17.9%)と「ある程度歓迎する」(45.7%)で合計63.6%が歓迎する気持ちを持っている。

Q.日本人観光客に対しては、どの程度歓迎するお気持ちですか。  
Q.外国人観光客に対しては、どの程度歓迎するお気持ちですか。

観光客を歓迎する気持ち【日本人】 (n=140)



観光客を歓迎する気持ち【外国人】 (n=140)



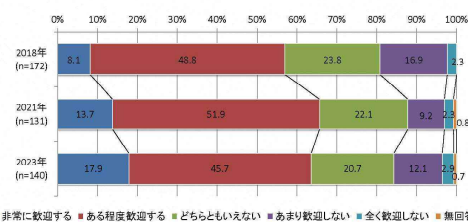
©2024 JTBC総合研究所

## 外国人観光客に対する歓迎度合

©2024 JTBC総合研究所

外国人観光客を歓迎する度合いについての回答は、「非常に歓迎する」が増加し、「ある程度歓迎する」が減少。歓迎する回答の合計は65.6%から63.6%に減少した。

Q.外国人観光客に対しては、どの程度歓迎するお気持ちですか。



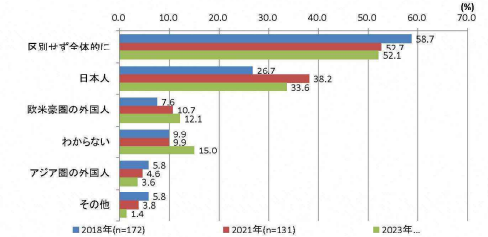
©2024 JTBC総合研究所

## 中心に受け入れる観光客

©2024 JTBC総合研究所

今後どのような観光客を受け入れるべきかとの質問では、「欧米系・アジア系」「日本人」「アジア系の外国人」は減少した。

Q.宮古島は、今後どのような観光客を中心に受け入れるべきだと思いますか。(いくつでも)



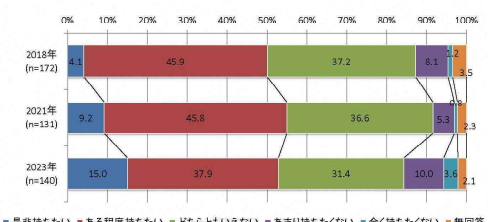
©2024 JTBC総合研究所

## 観光客と接点を持つ気持ち

©2024 JTBC総合研究所

観光客と接点を持つ気持ちについては、「是非持たない」が増加し「ある程度持たない」が減少し、「観光客と接点を持つ意向の合計は55.0%から52.9%に減少した。

Q.観光客との接点を持つ気持ちについて次のどれに当てはまりますか。



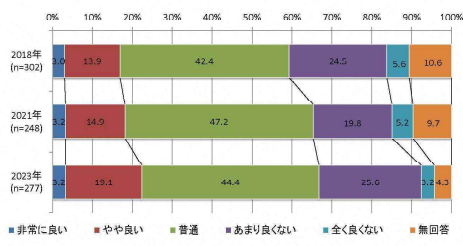
©2024 JTBC総合研究所

## 観光関連産業に対する印象

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

観光関連産業に対する印象は「非常に良い」が増え、「やや良い」が増加し、好印象の回答合計は18.1%から22.3%に増加した。

Q. 宮古島市の観光関連産業に対する印象について次のどれに当てはまりますか。



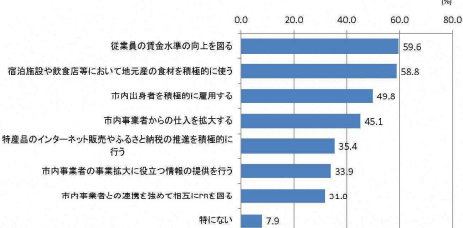
©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 市民が豊かになるために観光関連事業者に望むこと（2024年）

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

市民が経済的に豊かになるために、観光関連事業者に望むことでは「従業員の賃金水準の向上を図る」「宿泊施設や飲食店等において地元産の食材を積極的に使う」「市内出身者を積極的に雇う」「市内事業者からの仕入を拡大する」などの順に多く挙げられた。

Q. 市民が経済的に豊かになるために、観光関連事業者に望むことは何ですか。（いくつでも）



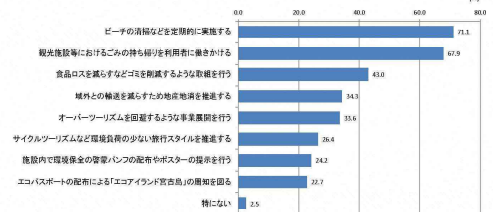
©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 宮古島市の環境を維持するために観光事業者に望むこと（2024年）

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

宮古島市の環境を維持するために、観光関連事業者に望むことでは「ビーチの清掃などを定期的に実施する」「観光施設等におけるごみの持ち帰りを利用者に働きかける」の二つが多く回答され、次いで「食品ロスを減らすなどゴミを削減するような取組を行う」「域外との輸送を減らすため地産地消を推進する」「オーバーツーリズムを回避するような事業展開を行う」などの順に多く挙げられている。

Q. 宮古島市の環境を維持するために、観光関連事業者に望むことは何ですか。（いくつでも）



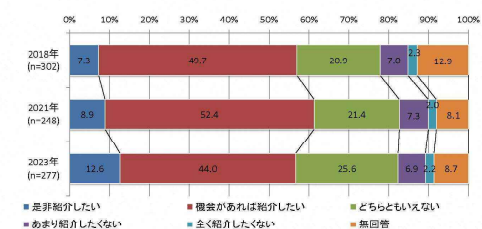
©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 地元の観光地・施設・資源の推奨度

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

地元の観光地や施設などを推奨する回答は、「是非紹介したい」が増加、「機会があれば紹介したい」が減少し、推奨する回答合計は61.3%から56.6%に減少した。

Q. 地元の観光地、観光施設、地域資源を市外の知り合いに紹介したいと思いますか。



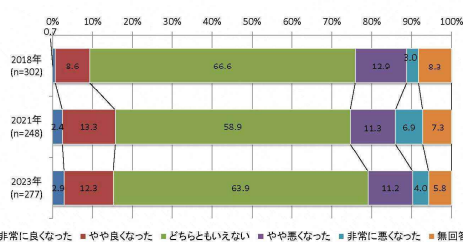
©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 観光振興による生活環境の変化

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

観光振興による生活環境の変化は、「非常に良くなった」が増加、「やや良くなった」が減少し、肯定的な回答の合計は15.7%から15.2%に若干減少した。

Q. 宮古島の観光振興によって、あなたの生活環境は良くなったと思いますか。



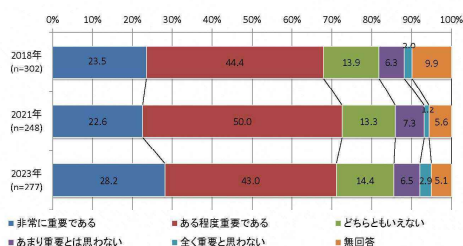
©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 観光振興の重要度

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

観光振興に対する重要度については、「非常に重要である」が増加、「ある程度重要である」が減少し、重要視する回答の合計は72.6%から71.2%に減少した。

Q. 宮古島市にとって、観光振興はどの程度重要だと思いますか。



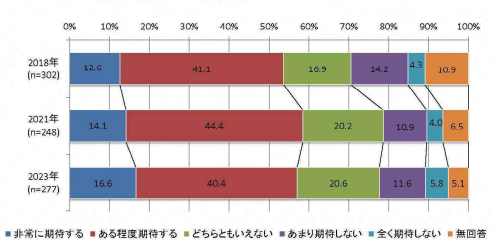
©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 観光振興政策への期待度

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

観光振興政策に対する期待度は、「非常に期待する」が増加、「ある程度期待する」が減少し、期待する回答の合計は58.5%から57.0%に減少した。

Q. 宮古島市の観光振興政策に、どの程度期待しますか。



©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

## 今後必要な観光政策（2023年）

©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製

宮古島市に今後必要な観光政策では「自然環境を守りながら発展する政策」「住民の居住環境が守られる政策」の二つが大きく、ついで「宮古島市民の雇用を確保する政策」「住民の利便性が向上するような政策」「基幹産業である農業の発展に結びつく政策」が続いている。自然環境や住環境の維持が、雇用や利便性、経済発展よりも優先されている。

Q. 宮古島市は、今後どのような観光政策を行うべきだと思いますか。（いくつでも）



©2024 ITB Tourism Research & Consulting Co. All Rights Reserved. 禁無断転載・複製